

令和7年第1回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和7年1月23日(木) 14時00分
- 2 閉会日時 同 日 14時43分
- 3 開催場所 市役所5階 大会議室
- 4 出席者 教 育 長 菅 野 恭 介
委 員 中 川 和 之
委 員 楠 田 初 美
委 員 深 田 英 世
委 員 荒 木 努

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	伊 藤 勝
次長兼教育総務課長	井 上 英 文
学校教育課長	小 坂 卓 司
こども未来課長	阿 木 博 信
生涯学習課長兼市史文化財係長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	三 村 尚 彦
図書館長	桜 井 雄一郎
学校再編室長	中 井 孝 浩
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき
学校再編室(学校再編推進員)	吉 村 靖

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

- 6 付議事項

なし

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

- 8 質問及び討議の内容

なし

9 議決事項

なし

10 報告事項

教育長

12月24日、愛の光こども園でクリスマスページェントがありました。招待がございましたので、見にいかせていただきました。子どもたちはとても頑張っていました。

12月25日には、市場株式会社様から日本語学習の積み木を公立4園へ寄贈していただいております。公立園に在籍しております外国籍の子どもが、日本の子どもたちと一緒に楽しく日本語を学べるように工夫してつくられたものです。とてもよくできたもので、できればさらに広げていければと思っております。

続いて、1月1日には加西市青少年団体連絡協議会による新春のつどいが、6時半からアラジンスタジアムで行われました。アラジンスタジアムをスタートし、ランドマークでご来光を見て、下りてきて抽選会ということで、たくさんの人に参加していただきました。

1月6日は新年交歓会を健康福祉会館であり、市内の様々な方が来られまして交流を深めたという状況です。

そして、1月8日は東光寺の田遊び、鬼会——これはずっと東光寺に伝わっております伝統的なもので、観客もとても多いし、子どもたちも今年、元気に舞台の上に上がって一緒に演技というか、参加してやってくれておりました。今後もこの行事が続いていくために、鬼会のときには剣を使ったちょっとした演技があるのですが、子どもたちにも事前に練習できるような機会をつくっていきたいと思っております。

1月12日は二十歳会が市民会館であり、こちらも良い会になっていると思います。

1月16日は中学校と部活動の地域展開に関する協議を行っております。これについては今、どこも苦慮しているところでございます。当初の部活動の「地域移行」から「地域展開」というふうに言葉も少し変わってしまして、今までは完全に地域に任せるといようなスタンスであったのですが、今は地域と学校が連携して子どもたちの成長のためにやりなさいというスタンスに変わっております。完全に地域に任せてしまうということはなかなか難しいですし、今後、加西市としても考えていきたいと思っております。令和10年度に中学校の統合がありますので、そこを一つの大きなきっかけにしてできるようにやっていきたいと思っております。他市町は令和8年、9年の段階でかなり進んでいくとは思いますが、本市の場合はそういうことがございますので、少しそこは慎重に行っていきたいと考えています。

1月17日は統合中学校設計に関する中学校との打合せを行っております。中学校の先生方の意見を聞いて、教育委員会の意見と合わせて合同提案としてさせていただくための打合せです。

それから、1月19日は兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝のつどいが、健康福祉会館でございました。耳の聞こえにくいまたは聞こえない方の集まりということで、例えば拍手も手をたたくのではなくて、腕を回すというような拍手の仕方であるとか、それぞれの状況に合った形の会であったと思っております。私は残念ながら手話があまりできませんので、手話通訳の下で話をさせていただきました。

それから、1月19日は「玉丘古墳群保存活用の会」主催の「もっと知ろう！ 国指定史跡玉丘古墳群」第1回は、「玉丘古墳築造」ということで兵庫県立考古博物館の中村弘先生に講演いただいております。これはこの保存活用の会が主催、教育委員会は協賛ということで参加させていただきました。40人以上の方が沢山の方が参加され大盛況であったと思っております。第2回は2月9日、日曜日、場所は同じ善防公民館です。玉丘古墳について追加で申し上げますと、現在、玉丘古墳の周濠という周りの堀の水を抜いております。それから、去年から玉丘古墳の木の伐採をしていますのでかなり木が少なくなって、今は古墳の墳丘の形状、築造時の状況というのがとてもよくわかる上に、水を抜いたおかげで周濠の中には、千六百年前の葺石がそのまま見えておりまして、これはなかなか貴重な機会なのでたまたま時間があれば見ていただければと思っております。

1月20日には新規採用予定者の面接を行っております。前年度、泉小学校で4月から担任がいなかったということがあったのですが、今回は新任をたくさん採用することができましたので、来年度はそのようなことはないと考えています。

1月21日は統合中学校の設計会議、先ほど申し上げた打合せをして合同提案ということでさせていただいています。また、同日には全国選抜小学生プログラミング兵庫県大会で優秀賞を取られた北条東小学校5年生の衣笠新禾君に、教育委員会表彰を贈りました。彼は自力でプログラミングを学習してすばらしいゲームをつくられており、見せていただきましたが、小学生がここまでできるのだなとびっくりしました。

教育部長

2点報告です。学校給食センターの運営について報告します。調理業務に従事する職員は北部、南部それぞれに17、8名ずつおります。ほとんどの職員が会計年度任用職員です。正規職員は1名おりますが、今年60を迎えて延長してもあと2年になっていきます。2年先は、全員が会計年度任用職員となります。今も長い経験とか現場で声の大きい方、そういう現場を仕切ってくださる方が、引っ張ってくれてはいるのですが、それは権限や責任があってしているわけではなくて、みんなが同じ立場で動いておりますので、現場で指揮を取りながら職員が対応するという体制が今後取りづらくなっていきます。また、熟練した職員が減っていきますので、スチームコンベクションや瞬間冷却器等、様々な機械の操作やメンテが行える職員が、いなくなってしまう状況がもうそこに来ています。

近隣でも西脇市、三木市、多可町など、民間委託する市町があります。加西市も、将来を見据えて考えていかなければいけない状況になっております。ただ、献立の作成、食材の選定、発注、栄養指導、食育などの業務については、センター長あるいは栄養教諭、管理栄養士、事務員で対応します。あくまでも調理室内の調理の業務だけを切り分けたいと考えております。今後、学校の先生方、保護者、それから給食センターの運営審議会で協議していきます。今後の人員配置を見据えて、おそくとも令和10年頃までには、方向性を見出していきたいと考えている状況です。

もう一つ、北条高校連携協定について報告します。前回、連携協定の予定についてお伝えしておりました。2月20日に加西市長と北条高校校長とで協定調印が行われることになりましたので、報告させていただきます。

教育委員の質問と教育部長の回答

- ・学校給食センターですが、中学校が統合した暁には、統合するところは今、全部が北部ということになりますが、どのような形になりますか。

(回答) 現在、給食センターでは毎日 3,300 食を作っておりますが、配送する区域は今後、統合に合わせて決めていく予定になります。

- ・人数も増えるのでしょうか。あまり変わらないですか。

(回答) 児童、生徒数は全体的には減少しておりますので、この 3,300 食は減少していくと思います。

- ・大変かと思うので、早めにいろいろと運営方法を考えたほうがいいのかと思います。よろしくお願いします。

学校教育課長

全校とも1月7日に始業式を迎え、非常にスムーズな3学期が始まっています。2学期末にはインフルエンザがかなり広まっていたのですが、3学期に入ってそれは少し収まりました。残念ながら今週には二つの学級で学級閉鎖はあったのですが、それほど広がりを見せていない状態です。活動としては、多くの小学校で先週あたりに書き初め大会を実施しています。また、これは全ての学校ですが、1月17日には1.17の防災教室や避難訓練など、阪神淡路大震災からの復興を祈りながら、学校独自の取組みを工夫して毎年この時期に行っております。

中学校ではもう既に昨日、今日あたりから、小学校6年生対象の新入生の保護者説明会が行われています。2月に入ってから、小学校のほうでも新入生の入学説明会が行われます。新年度の準備がいよいよ本格的に動いていく時期となりました。

総合教育センター所長

「令和6年度インターネット等の使用についてのアンケートの調査結果」について報告します。経年変化を見ますと、スマホの所持率は令和2年度の中学校で約50%であったものが、令和6年度で75%あたりになっており、非常に増えています。ただ、今年度、小学校1年生ではキッズスマホ、ジュニアスマホの所持率が、例年よりも多くなっております。キッズスマホ、ジュニアスマホについては制限がありますので、望ましいことだなと思うのですが、機種変更をせずにこのままいてくれることを望んでおります。

たくさんの項目があるのですが、SNSについてお話しさせていただきます。SNSについては年齢制限がかかっているにもかかわらず、使用制限のかかっている年齢以下でも使用が見られます。その辺りは保護者の責任において制限していただくしかないかなというところですね。それから、高額な課金やSNSで知り合った人と出会っているパーセントが低くはあるのですが、専門家にも見ていただいたところ、その低い率が犯罪に巻き込まれたり加害者になったりする率だということをこちらが自覚していないといけないというご指摘をいただきました。全体を通して「我が子は自分が守るのだ」という保護者の意識がないと、インターネット、SNSでの被害は減らないと思います。

さらなる保護者啓発のために本日お配りした「インターネットトラブルから子どもを守るために」というリーフレットを作成しました。2月中には小・中・特別支援学校に配布の予定です。

図書館長

特別整理期間の休館等についてご報告します。加西市立図書館では毎年2月下旬に蔵書の棚卸しである蔵書点検を実施しています。そのため2月21日から28日の8日間休館します。それに伴い貸出日数を本と雑誌は3週間、漫画、CD、DVDは2週間に増やしています。図書館休館中も資料の返却は、アスティアかさい1階と3階の返却ポストをご利用いただけます。また、中央を除く各公民館、総合教育センターでも返却が可能となっています。

学校再編室長

第3回統合中学校開校準備委員会について報告します。学校再編室では1月30日19時からコミセンの小ホールで、第3回開校準備委員会を開催します。

そのときに中学校の統一制服のモデルを（株）トンボにつくってきていただいて、三つのモデルを展示説明をしていただきます。その三つのモデルで今度、児童、保護者、中学校の先生方に投票いただいて、最終的に制服を決定していきます。

中学校の設計について2回目の開校準備委員会において、プロポーザルの案で説明

をさせていただいたのですが、配置等も大分変わってきておりますので、現在の状況を説明させていただきたいと考えています。それから、あと中学校の学校名の選定をします。現在、六つの案が残っておりますが、この中から最終的に統合中学校の学校名を投票で決めていきます。

それから、統合中学校の通学区域ということで、北条高校の前の尾崎町の一部と尾崎団地は、北条東小学校の通学区域に今なっています。中学校も北条中学校へ行くことになっています。今度新たに統合中学校が近くにできますので、その通学区域については、令和8年4月入学のとき、小学校1年生の入学者、中学校1年生の入学者に対してどちらの小学校、中学校に行くのか選択していただこうかと考えております。そのご意見を伺うため提案をさせていただきたいと考えています。最終的に通学区域については教育委員会で決定していただきますので、またそのときによりしくお願いいたします。

教育委員の質問と回答

- ・令和8年4月のときの北条中の対象の児童と生徒というのは、何人いるのですか。

小学生も対象ですか。

(教育部長の回答) 小中で12人です。今、その区域に住所がある小学生、中学生の人数が12人です。その2年後、中学1年生になる方の人数というのは、まだ把握はしていません。

(学校再編室長の回答) 小学校入学、中学校入学のそれぞれのときに選択をしてもらったらいかなというふうに考えています。

- ・小学校は北条東小へ行ったけれども、中学校は統合中学校へという選択もあり得るということですね。

(学校再編室長の回答) はい。令和8年の入学のときに判断していただければ、統合する令和10年4月にはその子は3年生になるので、令和8年に判断していただこうと考えています。

- ・今、尾崎町は、下里小学校に行っているのですか。尾崎は三つあるのですか。

(学校再編室長の回答) 北条高校の前も尾崎です。ちょっと入ったところに尾崎団地があります。自治会としては二つです。

- ・片方は下里に行っていて、片方は北条東なのですね。

(学校再編室長の回答) その間に段下町があって飛び地になっています。

(教育長の意見) これまで大昔にそこを開発したときの経緯で、その子どもたちは

北条へ行くというのがあったようですね。それで字は尾崎町だけれども、そのままずっとその一定区画の方は北条に行っていたということです。しかし、今度新しく中学校が近くにできるので、まさか目の前にある中学校に行けないというのはよくないかと。ただし、小学校や中学校の人間関係もありますから、絶対にそこに行きなさいというのもどうかということで、教育委員会事務局としては選べるようにしないといけないという考え方です。今度の開校準備委員会でご意見をいただくということです。

- ・話を聞いていたら、勝手に教育委員会のほうでどちらがいいとは言えませんね。
- ・昔、加古川では、加古川駅北側まで加古川小学校の校区がありましたが、すぐ目の前に氷丘南小学校という小学校ができて、そこでは自由学区というか、どちらを選択してもいいというふうにされていました。やはり子どもたちが一番通いやすく、時間も有効に使えるような場所がいいのではないかと思います。
(教育長の回答) 北条東小学校ができたときには、古坂でも北条小と北条東小のどちらでも選べるという地域があったのですが、今は完全に決められています。だから、当初はそういうふうな自由な状況というのは、ある程度必要かなというところですよ。
- ・私が勤めていた頃は古坂で子どもさんは新しいところに住まれているけど、子ども会の付き合いがまだ古い村でされているという人がありまして、そういう子ども会の付き合いの関係で北条小学校へというケースもありました。
- ・今度の開校準備委員会で統合中学校建設の今の状況を説明すると言われていましたが、まだころころと変わっていて、心配なので、もう少し待って2月が終わってからの方がいいようにも思ったのですが。
- ・次の会は年度を越えてしまうので、今の状況は大体こういう形ですということをおいておいた方がいいのではないのでしょうか。
(学校再編室長の回答) 「まだ変わります」という前提で説明はさせていただきます。
(教育長の回答) 懸念も持っているのですが、委員がおっしゃったように今の PTA 会長とかが交代され、今回が今の年度の方の最後になるので、「今はこういう状況です」、「まだ変わる可能性はあるのですが、こうなっています」というのは言っておいた方がいいかなと思っています。最初のプロポーザルのときからでは、かなり変わっていますので、多分まだ皆さんはほとんどプロポーザルのことしか知らないということもあって、設計の状況をお知らせしておいた方がいいかなと思っています。ですので、あくまでも「まだ変わる可能性はあります」ということは、重々伝えなければいけないとは思っています。

- ・大きく変わっていると思うので、それを伝えるときに当初の案にはいろいろな問題があったことや変わった理由、またどこでどうなったのかをある程度説明しなければ、多分違った理解で話が回ってしまうと思います。それで、最低限のことは何点か話したほうがいいのではないかと思います。
 - ・全然変わっていますし、開校準備委員会の委員だけならいいですが、「情報が全然入ってこない」と言われる校区も出てくると思うので、その後も情報の発信や共有はしっかりできるようにされたほうがいいのではないかと思います。
- (教育長の回答) 基本設計ができた状況で、校区関係の方には「こういう状況です」というのは一旦きちんと見せないと駄目だと思います。また良い表現の仕方があれば教えていただきたいです。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

- ・以前から総合教育センターのことをよく質問させていただき、仕事内容もお聞きしてきました。私が初めて総合教育センターはどういう仕事をしているのかを聞いたとき、業務が多岐にわたって結構大変であること、またその業務自体をそもそも総合教育センターがする必要は本当にあるのかと感じました。その辺は少し教育長には話したのですが、事務局としてももう少し見直し、精査したほうがいいのかなと思います。今の体制では、私が見る限り業務が多岐にわたり大変だろうと思うので、その辺で今後どういうお考えかお聞きします。

(教育長の回答) 総合教育センターは、研修所の機能と地域との連携も含めたセンター機能が一つになっているということ、なおかつ様々な団体の事務的なことも全部担っているということで、おっしゃるとおり非常に多岐に渡っていることもございまして、この何年間かの間にその業務を全体的に整理していきたいと考えています。ただ、完全に教育委員会から手放すことはできないので、当然どこにどういう人員を配置して、どこでそれを担当するかというようなことも含めて考えていきたいというのが今のところですが。センターはある程度すっきりとしていきたいし、事務的な業務も非常に多いです。担当している団体が非常に多いので、例えば団体の会議の案内を発送して集まっていたいて、会議を持って、また発送して集まっていたいて会議を持つということを常に行っている状況です。それで、その発送業務や資料作りだけでも担ってくれる方がいらっしゃれば、業務については随分助かると思います。そういう業務的なことも含めて考えていきたいと思っています。

- ・先ほど言われた青少年育成会など団体の種類や、総合教育センターが業務として今どうしているのかという一覧表みたいなものがあれば、一度教育委員に配っていただければと思います。

(教育長の回答) お配りしている年報に行っている業務、指導業務といわゆる連携業務という二つの大きな柱となっているものがあります。ただ、具体的な内容についてはなかなか読んだからわかるというものでもないで、それだけでは伝えにくいという部分もあります。

- ・年報だとかこういうことをやりましたという報告しかないで、たしか青少年でも書いてないこともあったような気がします。

(教育長の回答) それは考えていかなければいけないところです。特に、事務局を引き受けているところが多岐にわたっているので、前回少しお話をさせていただいた例えば市子連をどのようにするかというようなこともあります。それを残したままであれば、当然センターはその業務を行うのですが、青少年育成会についても小学校区ごとにもう既になくしたところもございいますので、そういうものを見直すことによって、センターの業務も減っていくということもございいます。だから、決して単に業務を見直すだけではなく、市全体で重複しているような組織もありますので、そこら辺も考えていければと思っています。

- ・それについては以前から私も疑問に思うことがたくさんありましたが、今の形というのができて何年になるのでしょうか。10年でしょうか。

(総合教育センター所長の回答) 14年目です。

- ・今の形にどうしてなったのかというのがわかりにくく思います。今の時代では考え方がスピーディーにどんどん進んでいる中ですし、人がどんどん減っているので、無駄なものがあれば減らすべきですし、昔の形のままおざなりになっている部分もあるので、皆さんの労力を減らすためにも、本当に必要なものであるかどうかじっくりと考えていけたらいいのではないかと私は思います。

(教育長の回答) おっしゃるとおりです。ただ、センターの立場としては、例えば市の青少年育成会についても「もうしません」というのはなかなか言えません。ですので、できれば私たち教育委員会で整理する中で議論をして、教育委員会として例えば「もうこの業務は教育委員会としては離します」という形であれば、センターもその業務を離しやすいと思います。その辺はまた相談させていただきたいと思います。

1 3 今後の予定について

- ・令和7年第2回定例教育委員会 2月25日(火) 14:00～1階多目的ホール
- ・令和7年第3回定例教育委員会 3月28日(金) 13:30～1階多目的ホール

1 4 その他

- ・北条高校との協定についての確認です。具体的にどんな目的で、どういうふうに協定を結んでいきますか。

(教育部長の回答) 協定書の目的は、「北条高校と加西市が包括的な連携の下、加西市に関わる全ての人々が自己の在り方、生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質、能力を育成するとともに、ふるさと加西の魅力を認識し、持続可能で活力ある地域を創造する人材の育成を図ることを目的とする」とあります。学生だけではなく、加西全体の人材育成が大きなテーマです。

- ・北条高校の横に中学校ができるので、中高の連携を高めて、かつ STEAM を広げて大きくしていくのかと思っていたのですが、それも中に入るとのことですか。

(教育部長の回答) 人材育成なので当然その中に入ると思います。

- ・今年度、計画訪問時に、北条高校が今やっている地域活動ともっと連携して一緒にやっていけるのではないかと、私は校長先生方をお願いをしました。そういうことをもっと広げていって、加西市や地域を発展させていくという目的で、北条高校と一緒に加西市としてやっていくということによろしいでしょうか。

(教育部長の回答) はい。双方が努力していくという関係になっています。

- ・元校長先生である菅野校長の時代から、高校生が地域に出てきてくれるようになってきたと思います。例えば公民館まつりでも、北条高校放送部を中心に司会に来てくれたり、九会限定で言えば網引湿原の整備であったり、ペットボトルツリーの組み立てを手伝ってくれたりとか、とにかく地域で、そのようなことができかけていて、それを地域としてやっていきましょう、市全体でやっていきましょうというのは、本当に良い方向だと思います。

- ・2月20日に調印式を行って、具体的にどこの団体と北条高校の団体がこうやっていこうというのは、今はわからないということですか。

(教育部長の回答) 北条高校は加西市と協定を結びますし、個別に企業とも協定を結ぶと聞いております。今後もう少し具体的な取組みの話が出てくると思います。

- ・今からスタートということですね。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和 7 年 1 月 23 日

出席者

(出席者署名)